第 3 回チャイルド・デス・レビュー模擬検証のご案内

チャイルド・デス・レビュー（Child Death Review; CDR）とは，「こどもの死亡に関する効果的な予防策を導き出すことを目的に，複数の関係機関・専門家が，死亡した子どもの既往歴，家族背景，当該死亡に至った直接の原因等に関する情報を基に行う，当該死亡に関する検証（こども家庭庁)」であり，わが国では「予防のためのこどもの死亡検証」と紹介されます。不幸にして亡くなったこどものいのちに想いを馳せながら，そこから得た学びを安全・安心な社会の実現に活かすための取り組みです。医療従事者がその推進に大きな役割を果たしますが，こどもに関わる多くの職域に等しく意見交換が求められます。

本企画では，これまでこども家庭科学研究班による探索や，厚生労働省/こども家庭庁による都道府県 CDR モデル事業で培われた経験などをもとに，実際の CDR での多機関検証会議を模した模擬事例の検証をご経験いただきます。このような模擬検証は，第 1 回（2021 年オンライン，参加 34 名），第 2 回（2023 年ハイブリッド，参加 60 名）に続き，今回が第 3 回（対面開催のみ）となります。近い将来の CDR の全国展開を見据え，参加者が「多職種専門家によって行われる未来志向の話し合い」をはじめとした CDR についての具体的なイメージを獲得することがねらいです。

また今回，科学研究班で探索中の「こどもの予期せぬ傷害事故」について，これまでの研究成果を第一人者より紹介しながら，皆さまとグループワークをする時間も設けました。一般市民というより，こどもに携わる関連職域の有識者・実務者を主な対象とした企画です。ご関心をお持ちの皆さまのご参加をお待ちしています。

と　き　2025 年 3 月 9 日（日）10:00〜15:00

ところ　TKP 金沢新幹線口会議室 6B（および 6A；午後のみ）
（〒920-0849 石川県金沢市堀川新町 2-1　井門金沢ビル 6 階）

募集人数　約 50 名
（併催の「第 7 回小児死亡時対応講習会（金沢大学，3/8 開催)」に参加予定がなくても，この企画のみにご参加いただけます）

申し込み方法　申し込みは特には不要ですが，下記問い合わせ先のメールアドレスまで事前にご一報ください。

持ち物　特に必要なものはありませんが，筆記用具をお持ちいただくと良いかもしれません。

参加費　無料

お問い合わせ　主催者代表（下記）までメールでご連絡ください。
名古屋大学医学部附属病院 救急・内科系集中治療部　沼口 敦（ぬまぐち あつし）
メール： nummer[アットマーク]med.nagoya-u.ac.jp
*: [アットマーク]を「@」にして入力して下さい。

主　催　こども家庭科学研究費補助金事業「子どもの死を検証し予防に活かす包括的制度を確立するための研究」研究班（代表：沼口　敦）

共　催　日本チャイルド・デス・レビュー研究会

後　援　日本小児科学会

プログラム（予定）

10:00- 開会

10:10-11:50 講演・グループワーク「わが国のこどもの予期せぬ事故の実態と予防」

（講師：国立成育医療研究センター救急診療部 植松 悟子）

11:50-12:00 午前の部　小括

（昼食休憩）

13:00-13:50 模擬検証（事例 1，事例 2：いずれか選択）

14:00-14:50 模擬検証（事例 3，事例 4：いずれか選択）

14:50- 午後の部　小括

閉会

（会場案内）